

第4学年1組音楽科学習指導案

令和6年11月5日(火) 第5校時
児童数 19名
指導者 野村 紗織
場所 北本市立石戸小学校 音楽室

1 題材名 せんりつの重なりを感じ取ろう

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、音楽を表現したり鑑賞したりする活動に興味をもち、授業にも意欲的に取り組んでいる。音楽の特徴を捉え、気付いたことや感じたことを言葉でまとめる活動にも少しずつ慣れてきているが、聴き取ったことと感じたこととの関わりについて結び付けて考えることが難しい児童や、自分の言葉で楽曲のよさを表すことが難しい児童もいる。

これまでに旋律の重なりについては、3年生の時にビゼー作曲の「かね」の鑑賞や「歌おう声高く」の歌唱などで学習をしている。4年生では、4月に「小さな世界」、9月に「ゴーゴーゴー」を歌い、二つの旋律が重なり合う歌唱を経験している。また、9月には、旋律の特徴を感じ取る学習として、サン＝サーンスの「白鳥」の鑑賞を行った。今後5年生では、音の重なりを感じ取って二部合唱曲の「いつでもあの海は」を歌ったり、「アイネクライネナハトムジーク」を鑑賞したりする予定である。

本時で学習する「ファランドール」の鑑賞については、登場する二つの旋律のそれぞれの特徴や曲の変化を感じ取ったり、最後には二つの旋律が重なり合う曲の面白さを味わったりできるようにしていきたい。

(2) 題材について

本題材では、自分や友達の歌声、あるいは器楽の音を聴き合いながら、皆で声や音を合わせて演奏する能力を伸ばし、旋律が重なり合うきれいな響きを味わうことができるよう学習を進めていく。

題材の初めの4時間では、前半と後半の旋律を重ねて歌うことができる歌唱教材（「パレード ホッポー」）と、異なる特徴をもつ旋律の重なり合いや掛け合いを楽しむことができる鑑賞教材（「ファランドール」）を取り上げる。旋律の重なり合う面白さに注目して、表現と鑑賞を関連させながら学習を進めていきたい。そして、旋律の反復や重なりが生み出す曲想を味わい、曲の構造に気を付けて音楽を聴くことができるようにしていきたい。

リコーダーのサミングを用いる器楽教材（「サミングにちょうせん！」と「オーラリー」）では、旋律の重なりが生み出す響きの美しさを味わいつつ、二部合奏の楽しさにも気付かせていきたい。

歌唱共通教材の「もみじ」では、言葉の美しさに気付いたり情景を思い浮かべたりしながら歌う学習も大切にしながら、本格的な二部合唱の導入としても扱い、旋律の重なり方の特徴や違いにも注目しながら、互いの声を聴き合って歌うことができるようにしたい。

(3) 学習指導要領との関連について

本題材では、旋律の重なりに着目し、学習指導要領のA表現(1)歌唱ア、イ、ウ(イ)ウ、(2)器楽ア、イ(ア)イ、ウ(ア)イ(イ)、B鑑賞ア、イを指導するものとする。

3 題材の目標

(1) 曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。〈知識及び技能〉

(2) 旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。〈思考力、判断力、表現力等〉

(3) 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律の重なり親しむ。〈学びに向かう力、人間性〉

4 教材について

- (1) 「パレード ホッホー」 高木あきこ 作詞 / 平吉毅州 作曲
- (2) 「ファラドール」 ビゼー 作曲 / ギロー 編曲
- (3) サミングにちょうせん! (サミングの演奏の仕方と、それを学ぶためのリコーダー練習曲)
- (4) 「オーラリー」 阪田寛夫 日本語詞 / ジョージ プールトン 作曲 / 長谷部匡俊 編曲
- (5) 「もみじ」 文部省唱歌 / 高野辰之 作詞 / 岡野貞一 作曲 / 中野義見 編曲

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連と具体的な学習活動

指導事項	<p>歌唱ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。</p> <p>歌唱イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと。</p> <p>歌唱ウ(イ) 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けること。</p> <p>歌唱ウ(ウ) 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けること。</p> <p>器楽ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。</p> <p>器楽イ(イ) 曲想と音楽の構造との関わりについて気付くこと。</p> <p>器楽イ(ウ) 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり。</p> <p>器楽ウ(イ) 思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けること。</p> <p>器楽ウ(ウ) 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けること。</p> <p>器楽ウ(イ) 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けること。</p> <p>鑑賞ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。</p> <p>鑑賞イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くこと。</p>
〔共通事項〕	<p>ア 音色、旋律、音の重なり、フレーズ</p> <p>イ 反復、音楽の縦と横との関係</p>
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴の違う二つの旋律が重なり合う面白さを感じ取りながら、歌ったり鑑賞したりする。 ・リコーダーの音が重なり合って生まれる響きの美しさを味わいながら二部合奏をする。 ・旋律の重なり方の違いを生かして二部合唱をする。

6 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>①知 曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌唱)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌唱)</p> <p>③知 曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑賞)</p> <p>④知・技 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。(器楽)</p> <p>⑤技</p>	<p>思① 旋律、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。(鑑賞)</p> <p>思② 音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器楽)</p> <p>思③ 旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさ</p>	<p>態① 旋律が重なる面白さを感じ取りながら歌ったり、聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌唱・鑑賞)</p> <p>態② 旋律が重なる美しさを感じ取りながら、友達と声や音を合わせて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽</p>

	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器楽)	や面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌唱)	しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。(歌唱・器楽)
1時	①知 行動観察、演奏聴取		
2時	②技 演奏聴取、行動観察		
3時	③知 発言内容、ワークシート		
4時		① 発言内容、ワークシート	① 行動観察、ワークシート
5時	④知・技 演奏聴取		
6時	⑤技 演奏聴取	② 演奏聴取、ワークシート	
7時	①知 発言内容		
8時			
9時	②技 演奏聴取	③ 演奏聴取、発言内容	② 演奏聴取、行動観察、発言内容

7 指導と評価の計画（9時間扱い）

時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動	○指導上の留意点
1次◆旋律が重なり合うおもしろさを感じ取る		
1	○「パレード ホッポー」のアとイの旋律の特徴の違いに気付き、その違いを表現する。 ・範唱を聴いたり、楽譜を見たり、旋律を指でたどったりして、気づいたことや感じたことを発表し合う。 ・アとイの旋律の特徴に気を付けて歌う。	○アとイの旋律の特徴の違いについて、発言内容を整理して板書する。 ○アはスタッカートやシンコペーションのリズムを感じて、イは滑らかに流れるようフレーズを意識して歌うよう声をかける。
2	○二つの旋律の特徴を生かして、互いの声を聴き合いながら重ねて歌う。 ・旋律を重ねて歌うとアとイと一緒に盛り上がることに気付く。 ・歌う組と聴く組に分かれて、旋律の重なりを確認し合う。 ○「ファランドール」の二つの旋律の特徴を聴き取る。 ・旋律の動きに合わせて手を動かしたり、旋律をたどったり、口ずさんだりして、それぞれの旋律の特徴を捉え、発表し合う。	○前時の板書の内容を振り返られるようにする。 ○児童の発言を、聴き取ったことと感じ取ったことに分けて板書する。 ○授業の終わりにどちらの旋律か聴き当てるクイズを行い、児童に旋律を印象付けておく。
3本時	○二つの旋律の反復や重なり合いに気付く。 ・二つの旋律を振り返る。 ・旋律の現れる順を予想する。 ・班ごとに対話しながら曲を聴き、二つの旋律の反復や重なりを確認する。 ・二つの旋律の特徴が変化して、最後は重なることに気付く。	○各班の予想をクラス全体で共有し、楽曲の進み方にはいろいろなパターンや可能性があることに気付かせる。 ○聴いている部分が視覚的にわかりやすい鑑賞用の動画を作成し使用する。 ○二つの旋律が交互に出てくることや、重なり合う最後の部分については、必ず記入するよう声をかける。
4	○二つの旋律が掛け合ったり重なったりするよさや面白さを味わって聴く。 ・全体を通して聴き、曲のよさや面白さを友達と紹介し合い、文章にまとめ、共有し合う。 ○サミングの仕方を確認して練習する。 ・練習曲を用いて、息遣いやタンギング、指の動かし方を練習する。	○前時までの板書を示して、二つの旋律の特徴やその変化、登場する順番を振り返らせる。 ○学習内容を意識させたいうえで、じっくりと鑑賞させ、紹介文を書かせるようにする。
2次◆旋律が重なり合う美しさを感じ取って演奏する		
5	○旋律の特徴を捉えて、主な旋律と副次的な旋律を演奏する。 ・範奏を聴き、気付いたことや感想を発表し合	○児童の発言を整理し、板書にまとめる。 ○後半にサミングを使う高いミとファ

	<ul style="list-style-type: none"> う。 ・主な旋律の階名唱をし、フレーズ、息の流れを意識して、リコーダーで演奏する。 ・主な旋律の後半部分は、2小節ずつ表現方法を工夫して演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> が出てくることをおさえる。 ○息つぎで2小節ごとに旋律が途切れないよう、フレーズのつながりを意識できるように声をかける。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○音色や音のバランスを工夫し、旋律が重なり合う美しさを感じ取りながら二部合奏をする。 ・副次的な旋律を階名唱して練習する。 ・グループごとに二部合奏の表現を工夫し、演奏する。 ・各グループの工夫を生かして、全体で二部合奏をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室内の各グループの配置や、音を聴き合える演奏隊形を工夫する。 ○音色をそろえること、パートの役割を考えること、音を聴き合うことの三つを、演奏のポイントとするよう助言する。
3次◆声が重なり合う美しさを感じ取って歌う		
7	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞や旋律の重なり方に着目して聴いたり歌ったりする。 ・全員で歌詞を音読する。 ・範唱を聴き、旋律の重なり方の違いについて気付いたことを発表し合う。 ・音程を確かめながら、主な旋律を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や歌詞から、情景を想像させる。 ○1、2段目、3段目、4段目の、旋律の重なり方の違いがわかるよう、楽譜を色分けして示す。 ○旋律の抑揚に合った自然な強弱の表現や声の出し方を確認する。
8	<ul style="list-style-type: none"> ○旋律の重なり方の違いを感じ取って、歌い方を工夫する。 ・副次的な旋律を歌う。 ・主旋律と副旋律のリズムを手拍子で打ち、重なり方を確認する。 ・3段目の3度の響きを確かめながら歌う。 ・全体を通して二部合唱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主旋律と副旋律の重なり方を拡大楽譜で示し、関係を理解できるようにする。 ○児童の発言を板書し、歌い方の工夫に生かせるようにする。
9	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの声を聴き合って二部合唱をする。 ・グループごとに表現を工夫し、どのように歌うか考え、伝え合い、練習する。 ・聴き合って感想を伝え合う。 ・各グループの工夫で共通した点を生かして、全体で二部合唱をする。 ・本題材を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習内容がわかる板書のなどを提示する。 ○前半、3段目、4段目の中で特に工夫したい部分を選んで表現の工夫を考えさせる。 ○学習内容を生かした表現になっている部分を具体的に褒めて価値付ける。

8 本時の学習指導（3／9時間）

(1) 本時の目標

○曲想と音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付く。

<知識>

(2) 展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動 T：発問	○指導上の留意点 ☆評価規準（評価方法）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・始まりの歌を歌う。 ・「パレードホッホー」を歌う。 ・前時の後半の時間に聴き取った、ファランドールの二つの旋律の特徴について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの活動を振り返り、アとイで旋律の感じが違うことや、二つの旋律を重ねていることに気付かせながら歌えるようにする。 ○前時の板書の写真や、楽譜の一部、図形楽譜などを見せ、二つの旋律を思い出させる。（前時では、それぞれの初めの部分だけを聴かせ、曲全体を通しては聴かせていない。） ○「王の行進」の旋律は、こぶしを握ったグーの手、「馬のダンス」の旋律は手の人差し指を曲に合わせて動かしたり、旋律を口ずさんだりしながら、旋律の特徴をつかませる。

7	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを把握する。 	<p style="text-align: center;">2つの せんりつ が どのようにあられるか に 気をつけて きこう。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・(伝え合いタイム①) 曲を聴く前に、二つのせんりつがどんな 順で出てくるか、班で話し合い、予想す る。 T：(発問①) 曲を聴く前に、二つの旋律が どんな順で出てくるか、班の友達と話し 合い、予想してみよう。 <p>○ 旋律の反復、重なり合い、変化に気を付 けて、「ファランドール」を聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○楽曲を聴く前に曲の構成について予想させ考 えさせておくことで、実際はどのような曲の 構成なのかを集中して聴くことができるよう にする。 ○班用のワークシートを一枚配り、班で予想を まとめ、出てくる順に○を付けさせる。 ○各班の予想をクラス全体で共有し、楽曲の 進み方にはいろいろなパターンや可能性があ ることに気付かせる。
1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・(伝え合いタイム②) 2つの旋律が、実際にはどのように現れ たか、班で確認しながら聴く。 T：(発問②) 二つの旋律が、実際にはどの ように出てきたか、班の友達と一緒に、確 認しながら聴いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○班で一台のタブレットと音声スプリッターを 使い、同じ班の児童と一緒に聴かせ、班で対話 をしながら、各部分が、それぞれどちらの旋律 なのかを確認しながら、聴かせるようにする。 ○二つの旋律が切り変わるタイミングに合わせて 「ア」「イ」「ウ」…などと表示される動画 を見せながら鑑賞させ、今聴いている部分が、 王なのか馬なのかを考えさせる。 ○一人で聴き取るのではなく班で対話しながら 一緒に聴くことで、二つの旋律の反復、速度や 調の変化、最後の部分の旋律の重なり全員 が気付けるようにしたい。 ○音源を聴く際は、途中で止めたり戻って聴い たりしてよいことを伝え、確認しながら聴き 進められるようにする。 ○確認が終わった班には、それぞれの部分につ いて、気づいたこと等を班用のワークシート の空いているところに記入させる。
2 5	<ul style="list-style-type: none"> ・(伝え合いタイム③) 二つの旋律の現れ方や、曲の変化につい て、クラス全体で、曲を聴きながら確認す る。 T：(発問③) 二つの旋律の現れ方や曲の変 化について、クラスみんなで一緒に聴 きながら確認しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○黒板や電子黒板に曲の流れを表示し、部分ご とにどちらの旋律だったかを確認しながら聴 き進める。 ○旋律の出てくる順を確認するとともに、旋律 の速度や調などがどのように変化したのかも 合わせて発表させ、曲想が変化しながら最後 には重なるという曲の構成を全体でおさえ る。 ○旋律が交互に出てくることや、最後の重なる 部分は、既習曲の「パレードホッポー」や 「小さな世界」と似ていることにふれる。
3 5	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習のまとめをする。 T：(発問④) この曲の構成を、文章でまと めてみよう。二つの旋律がどのように現 れ、どのように終わる曲だったのかを書 こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○この曲の構成について、文章でまとめさせる。

		○二つの旋律が交互に出てくることや、重なり合う最後の部分については、必ず記入させるようにしたい。 ☆③知 (発言内容、ワークシート)
	<p>「十分満足できる」状況 (A) : 二つの旋律が曲想を変化させながらくり返し現れ、最後には二つの旋律が重なるという曲の構成に気付き、旋律の出でくる順をワークシートのイラストに丸印で記入したり、文章で曲の構成についてまとめたりしている。</p> <p>「おおむね満足できる」状況 (B) : 二つの旋律がくり返し現れ、最後には二つの旋律が重なるという曲の構成に気付き、旋律の出でくる順をワークシートのイラストに丸印で記入したり、文章で曲の構成についてまとめたりしている。</p> <p>「努力を要する」状況 (C) になりそうな児童への支援 : 「黒板を見て、曲の流れを確認してみましょう。」「王の旋律と馬の旋律、最後はどうなったのかを言葉にしてみよう。」</p>	
4 3	・学習の振り返りと次回の活動の見通しをもつ。	○旋律のくり返し、重なり合い、変化に気をつけて曲を聴く音ができただかなどを振り返らせる。 ○次回は、学習したことを基に全体を通して聴き、「ファランドール」のよさや面白さを紹介する文章を書くことを伝える。
4 5	・終わりの歌を歌う。	

9 板書計画

めあて 2つのせんりつ が どのようにあられるかに 気をつけて きこう

電子黒板
 ・スライド、作成した動画等を表示

今日の学習
 ・歌であいさつ
 ・パレードホッホー
 ・ファランドール

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 王のイラスト </div>							
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 馬のイラスト </div>							
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; color: white; background-color: orange;"> 曲の流れ </div>							

10 ワークシート

「アルの女」第2組より ファランドール
ビゼー 作曲 / ギロー 編曲
4年 組 番号()

めあて① 2つのせんりつ を さいて、どくちょう を みつけよう!

・ 伝え合いタイム① → 音楽のどくちょうや、どんな感じがしたか について伝え合おう。

王の行進の製作の、資料書の内容と課題・実際の記録

*せんりつのはどくちょう、音色、強弱、楽譜、演奏の仕方について気づいたこと...	*音楽から感じたこと、イメージしたこと、どんな様子?、場面...

馬のダンスの製作の、資料書の内容と課題・実際の記録

*せんりつのはどくちょう、音色、強弱、楽譜、演奏の仕方について気づいたこと...	*音楽から感じたこと、イメージしたこと、どんな様子?、場面...

めあて② 2つのせんりつ が どのようにあられるかに 気をつけて きこう!

・ 伝え合いタイム① → (曲を聴く前) 2つのせんりつがどんな順で出てくるか、馬の友だちと話し合い、予想してみよう!

・ 伝え合いタイム② → 2つのせんりつが、実際には どのように出でたか、馬の友だちと一緒に、確認しながら聴いてみよう。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 2px; display: inline-block;"> 王のイラスト </div>							
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 2px; display: inline-block;"> 馬のイラスト </div>							
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 2px; display: inline-block; color: white; background-color: orange;"> 曲の流れ </div>							

・ 伝え合いタイム③ → 2つのせんりつのはどくちょうや、曲の変化について、クラスのみんなで一緒に話し合いながら確認しよう。

今日のまとめ この曲の構成(2つのせんりつがどのようにあられる曲だったのか)を、文章でまとめてみよう。
 この曲は、

めあて③ この曲ならではの よさ や おもしろさを 考えながら きこう!

・ 伝え合いタイム④ → この曲で「いいな」「おもしろいな」と思ったところを伝え合おう。

・ 音楽を味わって聴き、「ファランドール」という曲の よさや おもしろいところを紹介する文を書こう。(この曲のおすすめポイント)

